

分野	授業科目名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
老年看護学	老年臨床看護論 〈機能障害をもつ高齢者の看護〉	1	15	2年次後期	看護係長／ 副島和美

テキスト(発行所)	系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論 (医学書院) 災害時高齢者生活支援講習ハンドブック(日本赤十字社)
テキスト以外の教材、参考図書	生活機能からみた老年看護過程第2版(医学書院) パーキンソン病の看護と日常生活支援(メディカ出版)

学習のねらい	機能障害を持つ高齢者の看護を理解する
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 視覚機能障害がある高齢者の看護が理解できる 2 眼科手術を受ける高齢者の看護が理解できる 3 聴覚・音声の機能障害のある高齢者の看護が理解できる 4 嗅覚機能障害がある高齢者の看護が理解できる 5 加齢による骨折の特徴と手術を受ける高齢者の看護が理解できる 6 パーキンソニズムを理解し、生活への影響に対する看護が理解できる 7 薬物療法を受ける高齢者の看護を理解できる 8 災害時の高齢者の看護を理解する(赤十字高齢者災害時生活支援講習)

スケジュール				
回数	主題	学習内容	履修形態 他	
1回(1時間)	運動機能障害がある高齢者の看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者に起こりやすい骨折と特徴 2. 高齢者の手術における観察ポイントと看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 手術前オリエンテーション 2) 術後せん妄 	講義	
2回		<ol style="list-style-type: none"> 3) 廃用症候群予防と早期離床 4) 肺合併症予防と疼痛コントロール 5) 安楽な離床の援助方法(ハンドケア) 	講義・演習(実習室) 服装: ジャージ 身体調整技術	
3回		<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢によるパーキンソン症候群が生活に及ぼす影響 2. 高齢者の薬物動態の特徴 3. 副作用の観察 4. 服薬行動への援助 	講義	
4回		視覚機能障害がある高齢者の看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 視覚機能障害のある高齢者のアセスメント 2. 眼科手術を受ける高齢者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 老人性白内障治療の看護 2) 糖尿病性網膜症(光凝固術) (硝子体手術) 	講義
5回		聴覚・音声・嗅覚機能障害のある高齢者の看護	聴覚・音声・嗅覚の機能障害のある高齢者の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 鼓室形成術、副鼻腔手術 2) 難聴、音声の障害のある高齢者とのコミュニケーション方法 	講義

回数	主題	学習内容	履修形態 他
6・7・8回	機能障害のある高齢者の看護(災害時の備え)	赤十字高齢者災害時生活支援講習会 + α 1. 避難所で役立つ生活援助技術 2. 服薬管理 3. 点眼技術 4. 防災頭巾作成	講義・演習 (実習室) 持参物品:講義前に 連絡します
単位認定 の方法	1. 講義の出席時間12時間以上 2. 筆記試験100点、60点以上で合格とする 3. 単位は、上記の1. 2の両方の条件を満たした者を認定とする		
受講上の アドバイス	<p>老年看護学の臨床看護論ですが、専門基礎科目で使用した成人看護学のテキストも参照してください。参考図書の「パーキンソン病の看護と日常生活支援」は、マインドマップと動画でわかりやすい内容です。ぜひ参考にしてください。</p> <p>本講義で学んだ知識をもとに、老年看護技術論での演習を実施するものがありますので、関連についても意識しながら学習してほしいと思います。</p> <p>赤十字高齢者災害時生活支援講習会は赤十字健康生活支援講習指導員による講義です。</p> <p>検定などはありませんが、関心があれば日本赤十字社京都府支部開催の赤十字健康生活支援講習会などに積極的に参加することを期待しています。(支部ホームページを参照してください)</p>		